

主催：全国女性相談研究会、SEDA

—避難所報告会— 災害と女性

2011年5月15日（日） 13:00～15:30

会場：港区立男女平等参画センター 4階・集会室3

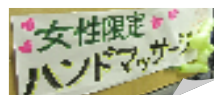
避難所における女性支援を考える報告会

東日本大震災後、避難所における女性や子どもへの支援はどのように行われているのでしょうか。避難所の女性や子どもは、外傷後ストレス障害、性被害、DV被害など複合的な問題を抱えることが考えられ、さまざまな支援専門家と連携する必要があります。わたしたち女性相談研究会は、震災直後から現在まで、継続的に避難現場にて女性と子どもの相談を行ってきました。今後も災害後の長期的支援を続けていく必要があるなか、このたび、避難所における女性支援の報告会を開催し、ご参加の皆さまと女性支援の必要性について一緒に考えたいと思います。

多くの方のご参加をお待ちしています！

- 「避難所における女性相談報告」
全国女性相談研究会メンバー

- 「避難所における女性支援の必要性」
北村 浩 震災支援ネットワーク埼玉(SSN)
板倉 由美 弁護士(東京法律事務所)
薄井 篤子 埼玉県男女共同参画推進センター
サポートスタッフ



エイボンさんから
の物資提供

物資提供と女性相談のようす



福島県への巡回相談

参加費：1,000円 参加費は避難所の女性支援活動に使わせていただきます。

※当日、協力金のお申し出も歓迎します。

対象：避難所における女性支援に関心のある方ならどなたでも。

定員・30名まで。 ※定員になり次第しめきり

申込：全国女性相談研究会へ、メールにて要申し込み

メール joseisoudan@gmail.com

問合せ：メールまたは電話にて。電話 090-2909-2196

全国女性相談研究会

東日本大震災後、女性支援を専門に行うDV被害者支援団体代表、弁護士、精神科医、助産師、カウンセラーなどにより結成された、女性相談の専門グループ。「現場支援」をモットーに活動。東日本大震災後、福島県からの避難者2,300人が収容された、さいたまスーパーアリーナ避難所に、弁護士や社会福祉士などによる震災支援ネットワーク埼玉(SSN)からの呼びかけで参加。3月19日～3月31日まで、約200人の女性や子どもの相談を受け、性被害やDV被害の防止活動や避難所運営への環境改善の要望を行う。その後も、さいたまアリーナから埼玉県加須市や福島県内避難所に移動した女性避難者へ、継続的な相談及び支援物資提供を行っている。

SEDA (Sexuality・Equality・DV・Action)

DV(ドメスティック・バイオレンス)のない社会を目指して、DV被害者支援を行う専門家グループ。被害者にも子どもたちにも、社会にも重大な影響を及ぼすDVをなくすため、DV被害者への情報提供や自助グループ開催、被害者へのカウンセリング、自立支援、加害者が更生するためのDV加害者教育プログラム、子どもたちがDVする人にもされる人にもならないためのデートDV防止教育プログラムを実施している。リーブラ男女平等推進団体。

【社会活動】

全国女性相談研究会の主要メンバーとして、東日本大震災直後から避難所への女性支援活動を開始。現在も、継続的に福島県内避難所へ巡回相談と支援物資提供活動を行っている。

このほか、2010年より、法テラス東京共催の女性限定無料相談会「なないろCafe」にも参加し、女性支援を行う。

【メンバー】

DV被害者支援団体代表、DV加害者更生教育ファシリテーター、デートDV防止教育プログラムファシリテーター、カウンセラー、弁護士、助産師、精神科医など。

(遠藤佐保子、金弘子、黒澤いつき、谷田和一郎、橋本初江、浜崎眞実、本間博子、ほんむら久美子、吉祥眞佐緒、米田美映)

●報告会 申し込み方法

- ・全国女性相談研究会のメールにて受け付けます。
- ・メールタイトルに【5月15日報告会申込】と書いて、全国女性相談研究会へ送信ください。
- ・メール受信後、確認のご連絡をさせていただき、受付完了といたします。
- ・なお、定員になり次第、受付をしめきります。

全国女性相談研究会メール
joseisoudan@gmail.com

※お問い合わせは、メールまたは電話で受け付けます。
電話:090-2909-2196

会場

港区立男女平等参画センター(リーブラ)

〒108-0023 東京都港区芝浦3-1-47
TEL: 03-3456-4149



男女平等参画センター「リーブラ」3～5階

<会場アクセス>

- ・JR「田町駅」芝浦口 徒歩2分
- ・地下鉄浅草線・三田線「三田駅」A4出口 徒歩4分